

**質問 53** 第三の戒めは 何ですか。

**答え I** 第三の戒めは、「あなたは あなたの神 主の名をみだりに唱えてはならない。主は み名をみだりに唱える者を罰せずにはおられない」です。

**質問 54** 第三の戒めでは 何が求められていますか。

**答え I** 第三の戒めは、神の御名、称号、属性、規定、みことば、御業を、聖く敬虔に用いることを求めています。

### 1. 十戒において 第三の戒めは 何ですか。

「あなたは あなたの神 主の名をみだりに唱えてはならない。主は み名をみだりに唱える者を 罰せずにはおられない」(出 20:7) です。

### 2. 神を礼拝する中で、神の御名を どのように用いるべきでしょうか。

神を礼拝する中で、尊い神の御名を正しく用いるべきです(詩 5:7)。神の御名は、神ご自身を現し、神の属性と完全さを知らせるからです(詩 44:6 ; 使徒 9:15)。神は、主の御名をモーセに知らせることで、絶対的でありながら永遠である神の存在を知るようにされました(出 6:3)。神が、主となられることを御名によって知らされました(ダニエル 6:4)。また、父、子、聖霊の名によって三位の関係について知らされました(マタイ 28:19)。従って、このような神の御名を礼拝を通して、聖く、区別して用いるべきです。

### 3. 神を礼拝する中で、神の称号を どのように用いるべきでしょうか。

神の称号は、神の属性を現すことであり、「創造主（イザヤ 40:28）」、「保全者（ヨブ 7:20）」、「すべての民族の王（エレミヤ 10:7）」、「万軍の主（イザヤ 1:9）」があります。一方で、「アブラハム、イサク、ヤコブの神」とも呼ばれたり（出 3:6）、「イスラエルの聖なる方（イザヤ 48:17）」、「聖徒たちの王（黙 15:3）」、「慈悲の父（Ⅱコリント 1:3）」、「祈りを聞かれる主（詩 65:2）」、「救いの神（詩 68:20）」という称号もあります。新約で、最も多く用いられる神に対する称号は、「私たちの主イエス・キリストの父なる神」です（エペソ 1:3 ; 1 ペテロ 1:3）。この称号によって、私たちは神と和解させられ（Ⅱコリント 5:19）、キリストを通して罪の赦しを受け（エペソ 1:6-7）、キリストにあつて神を「父」と呼べるようになりました（ヨハネ 20:17）。従って、神を礼拝する中で、神の称号を記憶し、聖なる方法で用いるべきなのです。

### 4. 礼拝の規定において、神の御名を どのように用いるべきでしょうか。

礼拝の規定は、聖書を読むこと、説教と神のみことばを聞くこと、聖礼典の施行とに参加することで、賛美と感謝を持って祈りを捧げ、断食することです。規定を施行するとき、神の御名を聖く用いることです。神の御名を用いることにおいて、敬虔と恐れがなくてはなりません（申 4:13 ; Ⅱコリント 7:1）。神の御名と称号が呼ばれる時、神は私たちの心の中にあるすべてを知っておられ、また偽りは裁かれることについて考えなくてはなりません（ホセア 6:6 黙 2:23）。勿論、神の御名がみだりに呼ばれてはならず（レビ記 18:21）、敬虔でない方式で使用してはならないのです。

### 5. 神を礼拝する中で 御名と 称号と 規定などを 正しく用いる時の 有益は 何ですか。

私たちのすべての黙想と、ことばにおいて、神の御名と栄光に対する尊敬が

現れるべきです（申 28:58）。キリストにあって神の御名と称号と属性に対する黙想は、私たちの信仰と聖さを増進させます（出 23:20-21）。規定などを聖く用いようと心を配るとき、それらは、卓越性を現す手段となります。神の摂理と贖いの栄光を現す方式でもあります。なお、私たちを謙遜にさせ、感謝があふれるようにさせます（黙 15:3-4）。つまり、神の御名と称号と規定を聖く用いることは、神の栄光を増進させます。

**質問 55** 第三の戒めでは 何が禁じられていますか。

**答え I** 第三の戒めは、神がご自分を知らせるのに用いておられる、いかなるものをも 汚したり 乱用すること すべてを禁じています。

### 1. 第三の戒めで 禁じていることの中で、第一は 何ですか。

神の御名と称号と属性と規定を汚すことです。それは、神の御名の評価を下げたり非難することです（イザヤ 36:20）。一方で、神のみことばについて悪く言ったり（使徒 13:45）、神の摂理について非難したりすること（エゼキエル 18:25）も含まれます。それは、聖なる神に対する無神論的軽蔑に該当されます（出 5:2）。勿論、無神論的な考えを持ち（詩 14:1）、神に対する誤った見解を持つこと（詩 10:11）も、第三の戒めが禁じていることです。神の律法によれば、このような罪は、死に該当されます（レビ記 24:16）。

### 2. 第三の戒めで 禁じていることの中で、第二は 何ですか。

神の御名と称号と属性と規定を乱用することです。神の御名を用い、約束しながら、自分を信じてくれるように言ったりするのも、神の御名を乱用するこ

とです。勿論、対話の中で、神の御名によって誓ったりするのも、神の御名を乱用することです（マタイ 5:37）。それは、創造主・神を侮辱することです。偽りの誓願を神の御名によってするのも、第三の戒めでは禁じていることです。このようなことは、自分たちの正直でない生活を、神の御名で隠そうとすることで、彼らの考えと心には神に対する恐れはありません。もし、神の御名を乱用することが、対話と彼らの生活の中に習慣のように居座っているのなら、それは、とても深刻な罪です。

### **3. 自分は 神の民だと言いながら、 神の御名を乱用することには どのようなものがありますか。**

偽善者たちと墮落した者たちは、ここに属します（ヘブル 6:6）。彼らは、信仰告白をしながら教会の規定の中にいますが、戒めは守らず（1ヨハネ 2:4）、不道徳な生活をします（ユダ 1:4）。勿論、彼らは神の御名を呼び、自分たちは神の民だと言いますが、彼らには救いの恵みの証拠はありません。彼らは教会の規定（説教、聖餐、祈り）に参加はしますが、形式的で表面的で、また、肉体的な習慣に過ぎません。教会の規定などが、彼らには霊的に全然助けを与えないのです（イザヤ 29:13-14）。

### **4. 神のみことばと 御業を乱用することには どのようなものがありますか。**

神のみことばを誤って解釈したり、適用したり、好奇心による無駄な考えをし、傲慢な心で無理やり説くことです。勿論、誤った教理を主張するのも、神のみことばを乱用することであり、神の真理と恵みと救いの方式を反対するのも、ここに該当されます。神の御業を乱用するのは、神がなさった御業について不平を言ったりつぶやくことです。一方で、神の摂理について敵対するのも、神の御業を乱用することです（民 13:32-33）。

**質問 56** 第三の戒めに つけ加えられている論証は 何ですか。

**答え I** 第三の戒めに つけ加えられている論証は、この戒めを破る者たちが たとえ人間による罰を免れたとしても、私たちの神である主は、彼らのご自身の正しい裁きを免れることを お赦しにはならないということです。

### **1. 第三の戒めを破った場合 神の裁きがあると強調する理由は、何ですか。**

神の無限なる栄光と卓越さについて人々は当然、敬うべきであり、謙遜な心を持ち、神を探し求めなければなりません。神がご自身を啓示なさった通り、人々が神を礼拝することを求めておられるからです（詩 83:18）。神が、私たちに契約の神として啓示され、キリストにあって恵みを施しておられるので、それについて私たちに求められるのは、神の御名をみだりに唱えてはならないことと、神に対する尊敬と感謝です（出 15:2）。

### **2. 第三の戒めを破ったことについて 罪を罰せずには おかれぬという 神のみことばは、何の意味ですか。**

神の御名を乱用し、誤用したことを偽証した罪として、裁くという意味です。神は、その罪について問い、罪に対して裁きをなさると仰せるのは、第三の戒めを破った罪が決して軽くないということです（ゼカリヤ 5:3）。最も神は、ご自分の御名をみだりに唱えることについて、敵と同じく扱うとおっしゃるのは、この罪について注目なさっているという意味です（マラキ 3:5）。従って、神の御名を呼ぶことにおいて、注意を払わなければならないのです。

### 3. 第三の戒めを破ったことに対する 神の裁きは どのようなのでしょうか。

第三の戒めを破ったことに対して、人間の法によっては裁かれません。人々は、神を心に置かずに、世は神を否定することで一杯です。権威ある者たちの中にも、神を無視する人たちが多くいるからです。従って、人々が神の御名をみだりに唱えたことに対して、人間たちは裁くことができません。しかし、神は、神の御名を乱用し、誤用した者たちに対して、必ず報いると仰せられるのです（アモス 3:2）。神は、決して侮られる方ではないからです（ガラテヤ 6:7）。神は、地から俗悪な者たちを断ち滅ぼし、地に飢饉を送ったりもなさいます（申 28:58-59）。